

PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY

(Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference PCT-11T-999	FOR FURTHER ACTION		See item 4 below
International application No. PCT/JP2011/070014	International filing date (<i>day/month/year</i>) 02 September 2011 (02.09.2011)	Priority date (<i>day/month/year</i>) 05 October 2010 (05.10.2010)	
International Patent Classification (8th edition unless older edition indicated) See relevant information in Form PCT/ISA/237			
Applicant SHARP KABUSHIKI KAISHA			

1. This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).
2. This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.

In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.

3. This report contains indications relating to the following items:

- | | | |
|-------------------------------------|--------------|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> | Box No. I | Basis of the report |
| <input type="checkbox"/> | Box No. II | Priority |
| <input type="checkbox"/> | Box No. III | Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability |
| <input type="checkbox"/> | Box No. IV | Lack of unity of invention |
| <input checked="" type="checkbox"/> | Box No. V | Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement |
| <input type="checkbox"/> | Box No. VI | Certain documents cited |
| <input type="checkbox"/> | Box No. VII | Certain defects in the international application |
| <input type="checkbox"/> | Box No. VIII | Certain observations on the international application |

4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).

Date of issuance of this report 09 April 2013 (09.04.2013)	
The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland Facsimile No. +41 22 338 82 70	Authorized officer Yukari Nakamura e-mail: pt07.pct@wipo.int

特許協力条約

発信人 日本国特許庁（国際調査機関）

代理人 佐野 静夫 様		PCT 国際調査機関の見解書 (法施行規則第40条の2) 〔PCT規則43の2.1〕
あて名 〒540-0032 日本国大阪府大阪市中央区天満橋京町2-6 天満橋 八千代ビル別館		発送日 (日.月.年) 22.11.2011
出願人又は代理人 の書類記号 PCT-11T-999	今後の手続きについては、下記2を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2011/070014	国際出願日 (日.月.年) 02.09.2011	優先日 (日.月.年) 05.10.2010
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. F24F11/02(2006.01)i, F25B47/02(2006.01)i		
出願人 (氏名又は名称) シャープ株式会社		

1. この見解書は次の内容を含む。

- 第I欄 見解の基礎
 第II欄 優先権
 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解の不作成
 第IV欄 発明の單一性の欠如
 第V欄 PCT規則43の2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
 第VI欄 ある種の引用文献
 第VII欄 国際出願の不備
 第VIII欄 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国際予備審査機関がPCT規則66.1の2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみなさない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解書とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日から3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当な場合は補正書とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解書を作成した日 09.11.2011		
名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号 100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 河野 俊二 電話番号 03-3581-1101 内線 3377	3M 3941

第I欄 見解の基礎

1. 言語に関し、この見解書は以下のものに基づき作成した。

- 出願時の言語による国際出願
 出願時の言語から国際調査のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
(PCT規則12.3(a)及び23.1(b))

2. この見解書は、PCT規則91の規定により国際調査機関が認めた又は国際調査機関に通知された明らかな誤りの訂正を考慮して作成した (PCT規則43の2.1(b))。

3. この国際出願で開示されたヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、提出された以下の配列表に基づき見解書を作成した。

- a. 提出手段 紙形式
 電子形式
- b. 提出時期 出願時の国際出願に含まれていたもの
 この国際出願と共に電子形式により提出されたもの
 出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出されたもの

4. さらに、複数の版の配列表又は配列表の写しを提出した場合、出願後に提出した配列の写し若しくは追加して提出した配列の写しが、出願時に提出した配列と同一である旨又は出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。

5. 補足意見 :

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についてのPCT規則43の2.1(a)(i)に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求項 新規性 請求項	1 - 4	有 無
進歩性 (I S)	請求項 進歩性 請求項	1 - 4	有 無
産業上の利用可能性 (I A)	請求項 産業上の利用可能性 請求項	1 - 4	有 無

2. 文献及び説明

[国際調査報告に引用された文献]

文献1 : JP 2003-194438 A (株式会社鷺宮製作所) 2003.07.09,
段落【0001】、【0028】、【0047】、【0048】、図2-6

文献2 : JP 2002-81713 A (三洋電機株式会社) 2002.03.22,
段落【0031】、図5

・請求項1-4に係る発明は、文献1、2により進歩性を有しません。文献1に記載された発明は、空気調和機において、圧縮機(4)、室外熱交換器(9B)、室内熱交換器(9A)、室外ファン、室内ファン、流路切換弁(100)等を有する冷凍サイクル(A)により、暖房運転を行うとともに、前記室外熱交換器の着霜を判定したときに、冷媒を前記暖房運転時と逆方向に流通させて、前記室外ファン及び室内ファンを停止した除霜運転を行い、前記除霜運転終了後に暖房運転に復帰して直ちに前記室外熱交換器の着霜(直前の除霜運転で取り切れないので残っている霜；すなわち、除霜不良による霜)を判定したときに、前記室内ファンの運転を停止した状態で暖房運転(冷媒の温度を上昇させる運転；すなわち、除霜準備運転に相当する運転)を所定時間継続し、その後に、除霜運転を再度行う構成を有しており、本願の前記請求項に係る発明とは、除霜運転中に除霜不良を判定するものではない点において相違しています。

文献2には、冷凍装置の制御装置において、除霜運転中に、最長除霜時間を経過し、かつ、除霜対象の熱交換器の温度が期待値より上がらなかつた場合に除霜不良と判定する構成が記載されており、文献1に記載された発明において、除霜運転中に除霜不良を判定する構成とすることは、当業者が容易に想到し得たことです。